

オキシンドー水和剤80

[有機銅水和剤]

農林水産省登録 第15664号

有効成分 8-ヒドロキシキノリン銅…80.0%

性状 黄緑色水和性粉末 45μm以下

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：5年（WSB包装3年） 包装：500g×20、835g×24、1kg×20、10kg×1 WSB包装：835g（417.5g×2）×20 RACコード：殺菌[M1]

特長

- 有機銅を有効成分としており、果樹野菜の幅広い病害に優れた保護効果を示す。
- 耐性菌出現リスクが低く、各種薬剤に対する耐性菌にも有効である。
- 糸状菌による病害から細菌性病害にも予防効果が高く安定した効果を発揮する。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切る。
- 石灰硫黄合剤、水和硫黄剤との混用は薬害のおそれがあるのでさける。
- 本剤は病害多発時の使用では効果が劣る場合があるので発生が少ない時期又は発生初期から1～2週間おきに予防的に散布する。
- 落葉果樹に使用する場合、病害の感染初期から7～15日おきに散布する。
- りんごに使用する場合、さび果の発生を多くする場合があるので、落花直後から落花20日後頃まで使用を避ける。また、樹勢の弱い場合には連用散布すると生理落葉を助長する事例もあるので、連用は避けることが望ましい。特にゴールドデン及びゴールドデンからの育成品種には注意する。
- ももに使用する場合、発芽後の若葉には薬害を生じるおそれがあるので、展葉後の散布は避ける。
- 芝の雪腐病防除には根雪前に1㎡当り所定濃度の希釈液1～2ℓを10～14日間隔で2～3回散布する。なお、1回散布の場合にはなるべく根雪近くに行く。
- 芝のコケ類防除には薬量として1㎡当り2.5gを芝生育期のコケ類発生期に10～14日間隔で2～3回散布する。
- ベントグラスに使用する場合、夏期高温時に連続散布すると薬害を生じるおそれがあるので所定量を厳守する。
- 麦類の紅色雪腐病、雪腐小粒菌核病に使用する場合になるべく根雪近くの晴天の日を選んで10アール当り100～200リットルを散布する。
- シクラメンに使用する場合、葉と花に汚れを生じるおそれがあるので、必ず展着剤を加用して散布する。
- 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合には、次のことに注意する。
 - 1)内袋は、濡れた手で触らない。
 - 2)外袋の開封後は、一度に使いきるのが望ましいが、保管する場合は、密封して、湿気を帯びないように注意する。
- はくさいに使用する場合、幼苗期、高温期には薬害を生じるおそれがあるので、過度の連用を避ける。
- はくさいの軟腐病などの細菌性病害防除に使用する場合、発病後の散布では、効果が劣るので発病前～発病初期から予防的に散布する。
- 本剤は自動車などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

■ 安全使用上の注意事項

- 誤飲、誤食などのないよう注意する。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼する。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

■ 水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用は避ける。
- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	有機銅を含む農薬の総使用回数	
みかん	黒点病 黄斑病	800～ 1000倍	200～700ℓ /10a	収穫30日前 まで	5回 以内	散布	5回以内	
	そうか病 炭疽病（さび果）	800倍						
かんきつ （みかんを除く）	黒点病 黄斑病	800～ 1000倍			3回 以内			3回以内
	そうか病 炭疽病（さび果） 幹腐病	800倍						
りんご	黒星病 黒点病 斑点落葉病	1200～ 1600倍		1200倍	収穫14日前 まで		4回 以内	7回以内 （塗布は3回以 内、散布は4回 以内）
	輪紋病 すす点病 すす斑病 褐斑病 炭疽病	1200倍						
マルメロ かりん	黒点病	1200～ 2000倍		4回以内				
なし	黒斑病 黒星病				1200～ 1600倍		収穫3日前 まで	9回 以内
	輪紋病	1200～ 1600倍		収穫14日前 まで			5回 以内	8回以内 （塗布は3回以 内、散布は5回 以内）
かき	炭疽病 落葉病 うどんこ病	1000～ 1400倍			発芽前～ 開花直前まで 但し、収穫60日前まで			
もも	縮葉病	1000倍	収穫終了後～ 落葉期まで	3回 以内				
おうとう	褐色せん孔病	1200倍			収穫30日前 まで	5回 以内	5回以内	
はくさい	軟腐病	800～ 1200倍	100～300ℓ /10a	収穫21日前 まで				3回 以内
	べと病	800倍						
レタス	腐敗病	1200倍	1000倍	収穫30日前 まで	8回 以内	8回以内		
キャベツ	黒腐病 軟腐病	1000倍		育苗期	3回 以内	3回以内		
こんにゃく	腐敗病		400倍	100～200ℓ /10a	根雪前	2回 以内	2回以内	
いちご	炭疽病							
麦類 （小麦を除く）	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	400倍	100～200ℓ /10a	根雪前	2回 以内	2回以内		

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	有機銅を含む農薬の総使用回数
小麦	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	400倍	100~200ℓ /10a	根雪前	5回 以内	散布	5回以内 (種子への処理 は1回以内)
	眼紋病		60~150ℓ /10a	収穫60日前 まで			
シクラメン	炭疽病	1000倍	100~300ℓ /10a	発病初期	3回 以内	散布	5回以内
芝	雪腐病	250~500倍	1~2ℓ/m ²	根雪前			
		40~80倍	0.2ℓ/m ²				
西洋芝 (ベントグラス)	かさ枯病	200倍	0.5ℓ/m ²	発病前~ 発病初期	5回 以内		

作物名	適用雑草名	使用時期	希釈倍数	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	有機銅を含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	コケ類	コケ類発生期	80~120倍	0.2~0.3ℓ/m ²	5回 以内	散布	5回以内

製品写真



最新の登録内容はこちら

